

前期基本計画 平成30年度 施策方針書

政 策 : 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策 : 02 企業集積と産学官連携の推進

施 策 : 01 inove(イノベ)等への企業集積の促進と産業立地構想の策定

施策担当職・氏名	企業振興課長 熊谷 和久
-----------------	--------------

1. 施策の実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	イノベーションパーク及び盛岡西リサーチパークへの企業誘致を促進するとともに、企業数の増加や誘致企業の成長に伴い、集積の加速化を図るための施策を展開します。
--	---

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)
1	暮らし IPUイノベーションセンター・パークへの立地件数 単位 %	18	20	21	23	25	26	-
			20	19	0	-	-	0.0
2	幸福 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	39.5	40.5	42.5	43.5	45	46	-
			40.4	40.4	0	-	-	0.0
	単位							

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推移	平成28年度	平成29年度 (見込)	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	4年後
1	2563 企業誘致事業 誘致企業数 単位 件	目標値 実績	3 3	3 0	3 -	3 -	3 -	3 -	3 -
2	6283 イノベーションセンター等管理運営事業 イノベーションセンター入居室数 単位 入居室数	目標値 実績	19 22	21 20	21 -	21 -	21 -	21 -	21 -
3	7409 岩手県立大学周辺産業集積整備事業 岩手県立大学周辺への企業の立地件数 (イノベーションセンター含む) 単位 件	目標値 実績	20 22	22 20	23 -	24 -	25 -	26 -	26 -
4	15176 滝沢市企業立地補助事業 誘致企業数 (企業誘致事業目標と同じに設定) 単位 件	目標値 実績	3 3	3 0	3 -	3 -	3 -	3 -	3 -
	単位	目標値 実績							

前期基本計画 平成30年度 施策方針書

政 策 : 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策 : 02 企業集積と産学官連携の推進

施 策 : 01 inove(イノベ)等への企業集積の促進と産業立地構想の策定

施策担当職・氏名 企業振興課長 熊谷 和久

2. 施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 施策目標の進捗状況分析

盛岡西リサーチパークには平成28年度残りの1区画を1社拡張に伴い分譲し、分譲率(面積)は100%で、製造業、卸売業、設計コンサルタント、サービス業などの企業が事業を展開しています。
また、inove(滝沢市IPUイノベーションセンター)には全体として21室中18室、8シェアデスク中2デスクに19社が入居しています。また、イノベーションパークには1社の立地が決定し29年度中に操業を開始します。
産業用地については、盛岡西リサーチパークが完売したことにより、大きい区画規模を持つ産業用地の確保が課題となっています。

(2) 施策の実現に影響する社会環境変化

経済のグローバル化、日本市場の縮小により日本企業の海外への設備投資が続き、経済回復の兆しが見える中にあっても国内における製造関係の拠点化の動きは継続的に鈍い状況となっています。一方で、日本国内を高度な開発拠点とする動きは、少しずつであるが動きが出てきています。
労働力不足は国内企業の大きな課題となっており、これらを背景に地方においては首都圏への若者の流出が続き大きな課題となっています。一方、人材や新しいビジネスの創出の観点から、地方の人材を目的とした企業の地方進出も増加しており、更には、国の地方創生などの動きもありあ地域のポテンシャルを生かした人材育成や研究開発、更には連携が重要となってきます。

(3) 基本施策との関連性

基本施策である「企業集積と産学官連携の推進」において、本施策は企業集積の計画を示すものであり、盛岡西リサーチパークやinoveへの企業誘致を更に推進するとともに、誘致企業を含めた市内企業の拡張や高度化を促進する施策となります。

3. 施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 施策の達成(実現)に向けた基本計画内の取り組みと方針

社会環境の変化に記載のとおり今後の地方の生き残りのポイントは人材と考えられます。滝沢市は岩手県立大学を中心とした大学や研究機関の立地があり、人材と先進的研究が大きな強みとなります。これら強みを背景としながら、最大限に生かした企業誘致や人材育成を今までも続けてきましたが、今後加速度を持たせるため、今まで築いた企業や関係機関とのネットワークを更に充実させinoveを中心に企業の集積を図っていきます。更に、誘致企業を含めた市内企業の連携を進め協業や新たなビジネス創出のための施策を加速させます。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題

継続的な企業への誘致折衝によるinove(イノベ)等への企業集積の促進と立地企業、市内企業が様々な連携により滝沢市に立地して良かったと感じ、集積の効果が波及するためのマッチングや支援を実施するとともに人材育成を企業や関係機関と連携し強力に推進します。更には、盛岡西リサーチパークが完売したことにより、大きい区画規模を持つ産業用地の確保のための調査研究を進めます。

(3) 基本計画内方針及び平成30年度重点課題に基づく優先順位の考え方

誘致を実施する一方で、立地企業、市内企業の連携等による新ビジネスや雇用の創出に繋げるためのマッチングや交流事業等と人材育成を推進することが重要であり、優先順位の考え方についてもこれらを基本とし進めます。

